

# 広報 やまから

No.636

2014年(平成26年)

4.1

1975年(昭和50年)4.1創刊

## みんな、ありがとう… 3年間の思い出を胸に 卒業

第9回 関川中学校卒業証書授与式(3月7日)

\*関連記事は18ページに掲載

平成26年度

# 施政方針説明

3月6日、定例村議会の初日に行われた平成26年度施政方針説明で、平田大六村長が村政運営の基本方針と主要事業について述べました。予算編成を除き、ほぼ全文を掲載しました。予算の説明は8〜12ページをご覧ください。



さて、私どもの関川村は、昭和29年8月1日に誕生し、歴史を重ね今年60周年を迎えます。これまで村勢発展に努力されてこられた歴代村長や先輩諸氏、そして現在も活躍されている大勢のみなさんに敬意と感謝を申しあげます。

また、旧2級国道では全国最初の道の駅として整備された「道の駅関川」、それにつながる「歴史とみちの館」は、ともに20周年を迎えます。その中心であります村のシンボルの存在の国の重要文化財渡邊家住宅の大規模改修事業が、今年12月には完了の予定であります。

このように今年、村として記念すべき出来事が数多い年であります。これらの周年式典や関連事業について、できるだけ早く具体的な内容を詰めて村民のみなさんにお知らせし、ご理解とご協力を得たいと思っております。

昨年の10月に開催しました「The MATSURI サミットin関川村」は、泉田県知事にもご出席いただき、予想を大きく上回る盛況となり、関川村の名を大いに高めることができたものと、関係

された大勢のみなさんに感謝しております。今年も周年事業などで、大勢のみなさんに来村いただき、いっそう関川村の知名度向上に努めたいと思っております。

## 地方を取り巻く状況

1月24日に開会した国会の冒頭、安倍首相は施政方針演説を行って、政権の目指すべき方向を示しました。

「我が国には元気で経験豊富な高齢者がたくさんおり、あらゆる人が社会で活躍し、その活躍できるチャンスをつくる。そうすれば、少子高齢化の下でも日本は力強く成長できるはずだ」と述べ、また、地方の活性化については「人口減少が進む中においても、元気な地方をつくる。これはおおいなる挑戦である。中山間地などの地方に住んでいるみなさんが、伝統あるふるさとを守り、美しい日本を支えている。地方には特色ある産品や伝統、観光資源などの「地域資源」があり、そこに成長の「可能性」がある」と述べ

るなど、国民の奮起を促して  
います。

私は、政府の各省庁や関係  
機関が首相の方針を受けて、  
わが村のような地理的に不利  
な条件の地域においても、希  
望の持てるようにするため、  
行政各般への支援を行ってほ  
しいものと思っております。

平成26年度の政府予算案は  
いま、国会で審議中でありま  
す。これに関連して、政府は  
2月7日に地方財政計画を閣  
議決定し、国会に提出しまし  
た。この地方財政計画は、国  
の地方対策の指針を定め、か  
つ地方の財政運営が安定的に  
行えるように地方交付税等の  
一般財源総額を確保するため  
のものであります。計画の規  
模は、前年度を1・8%上回  
る83兆3360億円となりま  
した。財源不足の自治体に配  
分される地方交付税について、  
国では必要額は確保するとし  
ているものの、総額が減って  
いるうえに、村の場合は人口  
減少や学校統合などにより、  
厳しい状況であります。

## 村政運営の 基本的な考え方

村の基本的な方向を定める  
第5次関川村総合計画並びに  
村政の基本理念である関川村  
むらづくり基本条例にしたが  
って平成26年度も村政を執行  
します。しかし、何分にも自  
主財源が乏しく、国や県の動  
向を見定めた動きにならざる  
を得ません。

以前から私が掲げてきまし  
た、村の資源を有効活用し産  
業の活性化を図ること、地域  
の連帯によるむらづくりと地  
域力の維持向上を図ること、  
子育てしやすい環境づくりを  
進めること、この3つを26年  
度も基本にして村政を運営し  
たいと思います。

以下、施策分野ごとに考え  
方をご説明します。

## 《社会基盤と 生活環境の整備》

### 道路整備

国道113号に沿う地域高  
規格道路新潟山形南部連絡道  
路「鷹の巣道路」は、すでに  
工事が進められ、予算が増額  
されて進展する見通しであり  
ます。今後は、平成11年に調  
査区間に指定されている金丸



—小国町間12キロについて、  
早期に着工可能となる「事業  
区間」に格上げされるよう沿  
線町村と協力して国に要望し  
てまいります。

また、県管理の国道290  
号について、工事中の上土沢  
—国道113号間は、一部に  
事業用地の確保に苦慮してい  
るものの、順調に進んでいま  
す。その完成を待って、高田  
橋以北の既定路線の整備を促  
進するよう要望を重ねてまい  
ります。

村道の改良や補修、消雪施  
設の改修につぎまして、各集  
落からたくさんの方の要望を  
いただいています。財源状況を  
みながら急いで対応すべき箇  
所について進めてまいります。

## 老朽化対策

村内の道路や橋、農業関係  
施設などは、昭和42年に発生  
した羽越大水害に伴う復旧工  
事として建設されたものが多  
く、老朽化が進んでおり、そ  
れらの計画的な対応を検討い  
たします。

## 交通機関対策

村内の路線バスとJR東日  
本の米坂線は、住民にとつて  
大切な交通機関であり、利用  
しやすくなるよう関係会社と  
協議を重ね、将来とも存続す  
るよう努めます。



## ゴミ処理

村内のゴミについて、焼却  
などの処理は村上市に委託し  
て実施しています。村上市の  
新たな処理施設の建設もすで  
に着手され早期の完成を目指  
しておりますので、応分の負  
担をしながら完成を願ってい  
ます。

## 防災・交通安全

いま首都圏や東海、東南海  
地域で大規模な地震・津波の  
発生が想定され、また大地震  
の後の火山噴火も危惧される  
など、全国で防災・減災への  
備えの重要性が認識されてい  
ます。

防災には自助・共助が重要  
であります。村ではこれまで  
各集落単位での自主防災会の  
設立を呼び掛けてきました。  
ようやく人口の約8割で組織  
化されています。1月には情  
報交換と共同事業の場として  
関川村自主防災会連絡協議会  
が設立されました。これらに  
より、住民意識を高め、さら  
にリーダー研修を行い、もし  
も各種災害を想定した訓練を  
することが容易になりそうで



す。村では連絡協議会とも協力しながら、10月19日に初の全村一斉の防災訓練を実施する計画を進めています。

村の消防団は、組織の大幅な改編以降も円滑に団の運営がなされていますが、さらに活動しやすい指揮系統とするため、地域隊に副隊長を置くなど一部を見直します。

交通事故は、全国的に件数、死亡者数ともに年々減少しています。いっそう撲滅を目指し、交通安全協会など関係団体とも連携して、啓発活動を推進します。

## 地域活動と協働

すべての課題や問題について行政が細かく対応するにはおのずと限界があり、地域の諸団体との協働に期待するところが大きくなっています。

そのためにも、集落やコミュニティ組織の円滑な運営が求められていますので、村として多面的に支援し、共に発展を目指します。

キラリと光る地域活性化事業は、村税総額のおおよそ1%に当たる700万円を財源として、村民のみなさんやグループの提案を実現するものとして定着してきたと自負しています。今までの4年間に44件の申請があり、そのうち22件を採択しました。様々な効果がありますので、継続いたします。

## 都市等との地域間交流の促進

10年以上の歴史がある、さいたま市との交流から、昨年は「The MATSURI Summit in 関川村」が生まれました。また32年目となる「いで湯の関川ふる里会」と「首

都圏在住関川村人会」、そして12年目となる「国際ボランティア学生協会（IVUSA）」との交流は、若い世代のリーダー育成や村の地域活性化、村を全国に発信すること、産業振興など数多くの効果があり、推進に努めたいと思います。

このたびIVUSAから、関川村と「連携協力に関する協定」を締結したいとの申し入れがありました。その内容は、危機管理について、防災訓練への協力、災害時要援護者研究事業などについてであります。これまでの経緯から、

永続的な関係を持つことが重要であり、早期に調印したいと考えています。

## 地域活性化対策

村は、出生数と死亡者の差を表す「自然動態」の減少が続く、さらに「社会動態」での減少も加わって人口減少が続いています。昨春の村民意識調査の結果では、村行政が最も力をいれるべき仕事として「雇用の機会の創出」がトップでありました。若い人たちの定着は、働く場を準備することも要素のひとつであり



太陽光パネル（写真はイメージ）



ます。雇用環境が改善しているとはいえ、雇用条件の良い企業の立地は容易でなく、また立地しても景気動向によつてすぐ撤退するという事例もあります。やはり、村の資源を活用した定着できる事業でなければなりません。

現在取り組んでいる太陽光発電事業の誘致と木質バイオマス発電事業はそれを目的にしています。原子力発電に対する国民の信頼が崩れた今、再生可能エネルギーに寄せる期待には大きなものがあり、国政においても追い風になる計画や予算が益々増える傾向にあり、国内の大きな潮流となっております。

太陽光発電事業の誘致につ

いては、企業側の最終結論がまもなく得られるものと予想しています。村内3か所を候補としており、順調にいけば早期に着工できるものと期待しています。ただ、この事業は雇用の機会を増やすことにはあまり期待できないと思います。

木質バイオマス発電事業については、鋭意実現に向けて条件整備に努めているところであります。燃料となる木材の確保にはほぼ目途がつきました。機械の性能など技術の確認、事業資金の確保などが課題でありますので、なんとか早期に解決させたいと思います。

ただ、村のリスクを少なくすることは当然のことであり、次代のみなさんに迷惑をかけることにならないような仕組みづくりを努めます。

これについて、村民のみなさんから様々な疑問や危惧のご意見もいただいております。説明できるように状況が進展した際には、早期に説明会を開催し、丁寧に説明し納得いただくように努めたいと考えています。



### 若者の定住・配偶者対策

若者定住対策のひとつとして進めた公営住宅「メゾン下関」は、村の直接の負担が極めて少なくなっています。この住宅は45歳までしか入居できませんので、その先も村内に定住いただけるように早急な対策が必要であります。

配偶者対策は、それぞれ個人の人生に関わることであり、大きな効果を挙げることは難しいのが現状であります。有志のみなさんの自発的な動きがいくつかあり、今後ともそのような動きがいっそう顕著になり、村としても具体的な成果が挙がるよう支援してまいります。

### 《教育・スポーツ・芸術文化》

#### 教 育

村民のみなさんが健康で生きがいを持って元気に過ごしていただくためにも、生涯学習は重要であります。世代間交流や生きがいを醸成する役割が期待されますので、指導者を確保し、誰もが気軽に参加できるようにいたします。

村内1校に集約された小学校と中学校は、教職員、保護者、地域のみなさんの協力により、問題なく円滑に運営されています。ただ、児童数の



減少に伴って、学級数もだんだん減少いたします。

小学校では、N・T・Tの実験校に選定されて3年間実施したICTシステムについて、期間が終了することから、今度は村の事業として継続することとしています。

また、関川中学校の野外運動施設の整備については、P・T・Aなどから強い要請がありました。平成26年度に設計調査費を計上し、具体的に進めることにしました。

重要文化財渡邊邸の大規模改修については、村も事業費の一部を負担し、26年度までの7年間に8億円を超える継続事業で進められており、計画によればいよいよ年末にはすべて工事が竣工する予定であります。それに伴う村の事業として、「文化財や街並みを生かした村の活性化」などをテーマとしたシンポジウムを計画したいと思います。

### 《福祉・健康・医療》

#### 高齢者福祉

平成35年には団塊の世代が75歳以上となり、医療・介護



・年金・生活支援などが大きな課題となります。政府はこれに対応するシステムの構築を急ぎ、現在、関連法案を国会に順次提出しています。安心して生活するためには、小規模自治体であっても重要な課題であります。今まで介護保険制度に含まれていた「要支援」と認定されている区分が分離されて別な対策に移行することもあり、平成26年度に策定する第6期介護保険計画に今後の具体的な取り組みべき課題を盛り込みます。

なお、介護保険料の高額問題で注目を浴びましたが、介

護給付費の伸びも平静を取り戻し、第6期計画では沈静化できるものと思っております。介護予防を啓発する趣旨で、昨年は介護保険制度を利用していないみなさんに商品券を贈呈しましたが、3年目となる26年度も継続します。

### 子育て支援

子育て支援については、医療費支援を高校卒業まで拡大するほか、ワクチン接種の無料化や不妊治療に対する助成などについては引き続き実施します。

保育園については、女川保



育園の入所児童が極めて少なくなっています。小学校が1校になったことから、保護者に意識の変化がみられ、幼い時から大勢の友だちと一緒に育てたいとの意向があるため下関保育園と大島保育園を希望しています。このことから、保育園の在り方を本格的に検討しなければならなくなりました。

### 社会福祉

社会福祉政策では共助・公助という考え方を基本とし、共助では集落、コミュニティ組織の取り組みとともに、村社会福祉協議会との連携のもとにボランティア活動の助長などに努めたいと思っております。

### 健康づくり・医療

健康づくり運動としては、村民の健康づくりの指針である「健康せきかわ21」に沿って事業を実施します。なかでも村民の意識高揚が重要であり、村民挙げて健康づくりができる機運を高め、早期発見、早期治療となるよう、予防活



動を進めてまいります。また、村では自殺が多いとされてきましたが、お陰様で改善傾向にあります。今後も関係機関との連携のもとに、自殺予防対策に努めます。

村の国民健康保険事業について、財政的に危機的状況となっております。財源は国の支出金と国民健康保険税でありますが、被保険者の所得を考えると増税することは難しく、たいへん苦慮すべき局面となっております。こういった状況は全国の自治体それぞれに共通しており、国において早急に対策を講じてもらう対策を

進めています。しかし、すぐに状況が好転するとは思えないため、一般会計からの支援を昨年に引き続き行います。

### 《産業振興》

#### 農業の振興

政権交代で農政は大きく転換することになりました。

「新たな農業・農村政策」とする国の政策は、農地中間管理機構の創設、経営所得安定対策の見直し、水田フル活用と米政策の見直し、日本型直



接支払制度の創設の4つを改革の基本に据えています。農林水産省は、すでに全国的に説明会を展開しており、村でも2月に実施しました。また、昭和45年から始まった国主導のコメの生産調整を、平成30年までに廃止し、農業団体にその役割を担わせることになりました。生産性の低いわが村では、自由競争で生き残るには大きな課題がありますが、これをチャンスにしたいという意見もあります。村としては、国の制度を十分理解し、それを最大限活用しながら、村の資源を活かし、また農地の維持と経営の効率化を支援し、農業の振興を図

りたいと考えています。

一方で、県営事業として女川左岸地域約250㍍の整備が本格化します。土地改良区が主体となって取り組みますが、村の事業費負担も相当あります。できるだけ早く完成させたいものであります。

農地整備の推進に伴い、埋蔵文化財の調査を進めなければなりません。そのための専門職員を4月に採用し、その準備を整えることにいたしました。

## 林業振興

林業振興に関する世論の高まりもあって、国の関係予算が手厚くされ、全国的に様々な取り組みが行われています。村では、森林組合を中心に推進してきており、今後もしっかりそう村内林業の振興を図ります。

林業振興のために不明確な境界を確定しようと進めている国土調査について、中東の現場作業に入っていますが、さらに田麦千刈地区まで調査エリアを広げて推進いたします。

## 商工観光の振興

商工観光の振興については、商工会、観光協会など関係団体と協力しながら振興に努めます。プレミアム商品券の発行、リフォーム事業の支援、旅館や飲食店の支援を村内の経済団体の協力により進めてきましたが、引き続き可能なものについて進めたいと思います。

わかぶな高原スキー場については、年々客の入込数が増えており、今シーズンも昨年来を若干上回る状況であります。スキー場は、村の冬の観光に

は欠かせない施設でありますので、建設から27年が経過して施設の老朽化がめだつてきていますが、計画的に改修を行うとともに、いっそうの繁栄を期待しています。

## 《効率的な行政運営》

村上・岩船圏域はもちろん、近隣市町村とは文化・経済・社会などあらゆる分野で協力関係にあり、またこれを維持することは大切であります。共通の事務を共同で処理することや、様々な課題に対し一

緒に対応している組織などへの参加も関川村を維持・発展させるには欠かせません。

関川村むらづくり基本条例の基本理念は「村民参加の村政」であります。様々な機会を捉えて村民のみなさんご意見を聴ききして村政に当たります。効率的な行政運営を推進するうえで事務の改善は常に行わなければならないこととあります。

懸案であった戸籍の電算化については2か年の継続事業とし、26年度で完了する見込みであります。すでに3月3日から、現在の戸籍について証明を発行できるようになりました。

市町村合併に加わらずに自立する方針を決めて以来12年ピーク時から30数人の職員を削減してきました。しかし、農政対策、埋蔵文化財発掘調査、福祉対策、マイナンバー制度の導入などの仕事が増加し、その事務量から、現職員数では限界となっております。今後数年間で幹部職員が大勢退職する見通しであることや、将来の職員の人事構成から、計画的な人事行政が必要であります。



また、職員一人ひとりの能力を高めて行政事務を処理する必要がある、村のことはもちろん、国内外に関するものなどの情報を共有し、階層別研修への参加や勉強の機会を増やし、前向きな思考で行政が進められるよう自己啓発の機運の醸成に努めます。

結びに、様々な課題や問題が山積する村政ではあります。先人が築き上げた歴史と伝統を大切に、この愛する関川村を発展させて後世に伝えていくため、一生懸命に努力する覚悟であります。

村議会ははじめ村民のみなさんのおいしい、平成26年度の施政方針説明といたします。



## 平成26年度 当初予算

# 子育て支援・教育環境の充実に重点

## 一般会計予算規模は44億1,800万円

一般会計の総額は44億1,800万円。村道拡幅改良や耐震性貯水槽整備をはじめ、大石ダム湖畔公園の遊具新設、わかぶな高原スキー場リフト改修などの工事費増加によって、昨年度よりも1,800万円多い積極型予算となりました。

また、高校生及び中等教育学校生を対象とした通学用定期券の補助、高校卒業まで通院入院の医療費拡充、小学校での情報通信技術（ICT）事業の拡大、さらに小中学校での教員助手拡充など、子育て支援や教育環境の充実に重点を置いた予算としました。

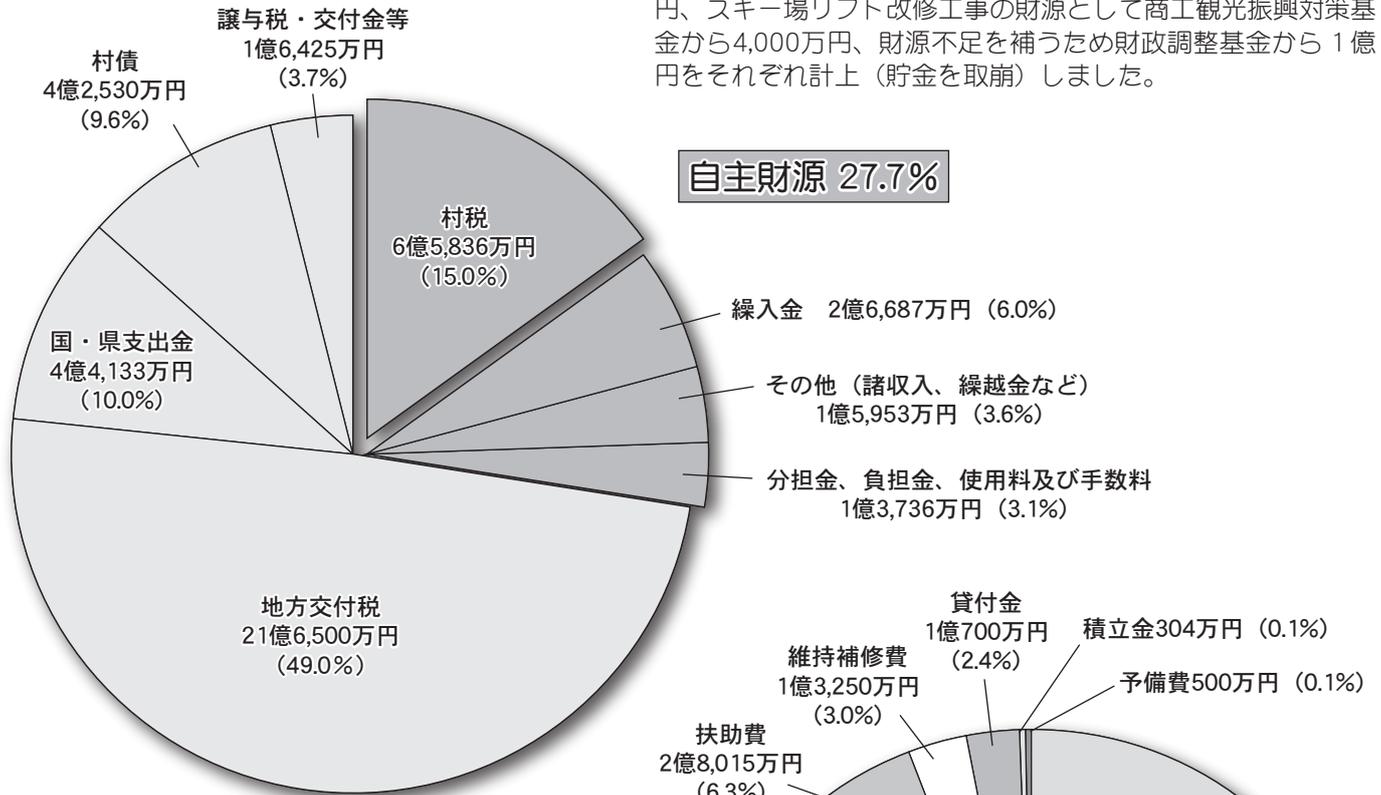
### ■各会計の当初予算

会計名		平成26年度予算	平成25年度予算	前年比	
				増減額	増減率
一般会計		44億1,800万円	44億円	1,800万円	0.4%
特別会計	国民健康保険特別会計	7億5,000万円	8億3,500万円	▲8,500万円	▲10.2%
	国保関川診療所特別会計	5,800万円	5,940万円	▲140万円	▲2.4%
	介護保険事業特別会計	9億9,670万円	10億160万円	▲490万円	▲0.5%
	後期高齢者医療特別会計	6,200万円	6,180万円	20万円	0.3%
	村有温泉特別会計	510万円	510万円	0万円	0.0%
	宅地等造成特別会計	680万円	700万円	▲20万円	▲2.9%
	簡易水道特別会計	5,570万円	5,900万円	▲330万円	▲5.6%
	公共下水道事業特別会計	4億8,200万円	4億9,800万円	▲1,600万円	▲3.2%
	農業集落排水事業特別会計	1億1,280万円	1億1,650万円	▲370万円	▲3.2%

水道事業会計		平成26年度予算	平成25年度予算	前年比	
				増減額	増減率
収益的収支	収入	1億510万円	1億460万円	50万円	0.5%
	支出	1億500万円	1億460万円	40万円	0.4%
資本的収支	収入	1,800万円	2,200万円	▲400万円	▲18.2%
	支出	9,416万円	1億974万円	▲1,558万円	▲14.2%

# 歳入 (一般会計)

## 44億1,800万円



### 依存財源 72.3%

#### ●繰入金

下水道会計や水道会計など、料金収入で賄いきれない特別会計に対して支出するものです。

その他国保会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計などに対する、法律に基づいた村の負担金も含まれています。

#### ●公債費

公債費とは借金返済額のことです。前年度より3,680万円減少しました。

#### ●投資的経費

道路、橋りょうなど各種社会資本の新增設を行う際の経費です。国の社会資本整備総合交付金を活用して、上野新中東線の道路改良、老朽化している消雪パイプの更新事業やトンネル点検など、前年度よりも8,252万円増加しています。

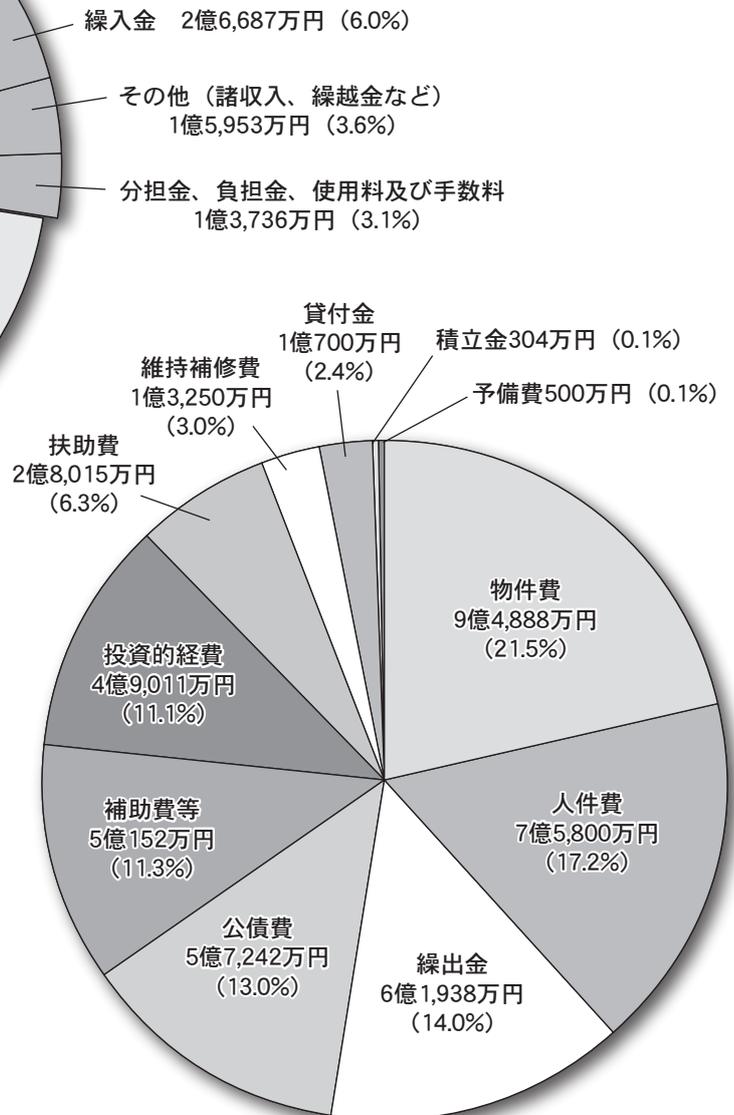
#### ●村税

固定資産税は4億868万円。村民税は1億7,683万円、たばこ税は3,878万円、入湯税は1,770万円、軽自動車税は1,637万円となっています。

#### ●繰入金

主なものは、村上市に建設される新ごみ処理場施設整備負担金の財源として、環境衛生施設整備基金から4,130万円、介護保険事業会計繰出金の財源として地域福祉基金から2,000万円、スキー場リフト改修工事の財源として商工観光振興対策基金から4,000万円、財源不足を補うため財政調整基金から1億円をそれぞれ計上 (貯金を取崩) しました。

### 自主財源 27.7%



# 歳出 (一般会計)

## 44億1,800万円

# 予算の使いみち



## 子育て支援

### 子ども通院・入院医療費

#### 助成の拡充

対象範囲を高校卒業まで拡充します。通院1回530円、5回目以降は無料、入院は1回1200円の自己負担とする制度に1650万円を計上しました。

### 通学用定期券購入補助事業

#### をスタート

高校生と中等教育学校生を対象とした新規事業で540万円を計上。定期券購入額の30%を助成する制度で、全国でも先進的な取り組みです。

### 予防接種費用

1830万円を計上し、感

染症などの予防対策に力を入れます。幼児の細菌性髄膜炎による障がい発症を予防するヒブワクチン接種と、小児肺炎球菌接種費用の全額助成制度を継続。

中学1年生女子を対象とした子宮けいがん予防ワクチン接種費全額助成も継続します。

### 出産支援

妊婦一般健康診査には418万円を計上。安心して出産できるように、全額助成を行います。

年間10万円を上限とした不妊治療補助金に100万円を計上。初期治療から支援できる要件となっています。

## 教育環境の充実

### 関川小情報通信技術

#### (ICT)事業の充実

全国から注目されている先進的な取り組みを継続するため、全教室に電子黒板を導入し、更なる学習環境の向上を

### 小・中学校の通学費及び

#### 教員助手の配置

定期券代1165万円、臨時バス借上料114万円、スクールバス運行費1798万円をそれぞれ計上。

教員助手の配置費には小・中学校合わせて14人分2720万円を計上しました。県内でもトップクラスの指導体制で、きめ細かな教育環境の充実を図ります。

### 給食費

放射性物質検査を継続し、食材の安心安全を確保するとともに、地産地消の食材も取り入れた美味しい給食を提供します。3513万円を計上しました。

### 関川中グラウンド設計調査

平成26年度は詳細な設計調査を行い、次年度に工事着手を予定しています。550万円を計上しました。

### 施設の長寿命対策・安全対策

中学校特別教室棟のラック補修工事に235万円、小学校の校舎雪庇防止工事に50

万円をそれぞれ計上しました。



## 医療福祉の充実

### 地域医療の充実

村民が安心できる地域医療体制を確保するため、平日夜間の急患診療（内科・小児科）を村上市に委託します。

また、村上総合病院の休日診療体制の補助金に163万円、医療設備導入の補助金45万円をそれぞれ計上しました。

### 高齢者福祉

高齢者が安心して健やかに暮らすことができるよう、在宅生活を支援する福祉サービスを継続します。

むつみ荘で実施しているデイホーム利用送迎車購入に341万円を計上。さらに、地域の茶の間事業や元気はつらつ事業など、介護予防対策の充実を図ります。

各地区の老人クラブ補助金

に119万円、地区敬老会補助金に229万円をそれぞれ計上。村社会福祉協議会への補助金は2399万円としました。

### 国民健康保険・介護保険

国民健康保険特別会計繰出金は7840万円、介護保険特別会計繰出金は1億6156万円をそれぞれ計上。保険基盤の安定と制度の充実を図ります。

なお、75歳以上の介護保険未利用者の方に対する商品券代として、330万円を計上しました。

## 産業の振興

### 農業



水田利活用推進補助金には1300万円を計上。国の政策に注視しながら対応します。

中山間地域等直接支払交付金には1752万円を計上。新規事業である農業の多目的機能の維持・発揮のための地

域活動や営農活動に対する支援を行う多目的機能支払交付金1197万円を計上しました。

地産地消推進対策費には132万円を計上し、保育園、小学校、中学校への地元農産物の提供をはじめ、あいさい市利用促進事業として出荷手数料の5%を助成します。

農業生産基盤等整備事業314万円、県営土地改良事業負担金1445万円をそれぞれ計上し、土地改良事業の推進を図ります。

## 林業

林業振興として森林環境保全直接支援事業補助金をはじめ、国の政策と連動して総額2032万円の補助金を計上。さらに、林道板橋線舗装事業に2170万円を計上し、林業活性化を推進します。

## 商工観光

商工会補助金には648万円を計上。経営支援事業や空き店舗対策、地域商店街の活性化事業を支援します。また、村内消費拡大を目的としたプレミアム商品券発行事業に1100万円を計上しました。ゆくむの運営に6052万円

村有観光施設の管理費として5712万円をそれぞれ計上し、運営を管理公社に委託します。

観光施設整備費に9304万円を計上。大石ダム湖畔公園に新しい遊具とバッテリーカーなどを設置します。



## 生活環境衛生の確保

### ごみ・汚水処理

村上市新ごみ処理場建設事業負担金を4137万円計上しました。

ごみ処理では、収集委託料に3987万円、村上市へのごみ処理運営費委託料に1181万円をそれぞれ計上しました。

汚水処理では、合併処理浄化槽設置補助金に480万円、胎内市清掃センターし尿処理委託料に2423万円、下水道事業会計（公共下水道事業・農業集落排水事業）繰出金に3億712万円をそれぞれ

れ計上しました。

## 水道

安心な飲料水を供給するため、水道事業会計に1785万円の補助金を計上。また、簡易水道特別会計には2009万円を繰出し、住民の生活環境衛生を確保します。

なお、水道、下水道料金については、消費税率の引き上げに伴い4月から料金改定を行います。

## 安心安全の確保

### 安心安全対策

自主防災組織の推進と育成に60万円、要援護世帯への雪下ろし補助金に120万円、集落への除雪機械購入補助金に140万円をそれぞれ計上しました。

## 防災

近年の局地的豪雨による洪水対策として、住民が安全に避難できるように、ハザードマップ作成に400万円を計上。今年度は荒川右岸地区の作成を予定しています。

災害時に避難所となる関川中学校に防災備品庫設置費140万円を計上。また、防災

訓練経費として20万円を計上しました。

## 老朽化対策

国の社会資本整備総合交付金を活用して、大石ダムトンネル点検に500万円、老朽化した消雪パイプ更新に2240万円、上野新中東線改良に1200万円をそれぞれ計上。村単独事業を含めた道路の改良や維持修繕、消雪パイプの更新、交通安全施設などの工事費は、1億5925万円としました。各集落からの要望箇所を確認し、老朽化の程度や必要性の高い所に予算配分しています。

## 消防団

団運営費に2482万円、消火栓更新に890万円、消防積載車2台購入に840万円をそれぞれ計上し、消防団活動を支援します。また、耐震性貯水槽整備に2810万円を計上。設置は宮前、蛇喰、上土沢を予定しています。

## 除雪経費

消雪パイプ電気料や修繕料、除雪委託料など1億937万円を計上。また、除雪ドーザー更新に2500万円を計上し、

冬期間の安心安全を確保します。



## 暮らしの充実

住宅リフォーム（改修）の補助金を継続します。20万円以上の改修工事費に対し10%を補助（上限10万円）するもので、村内事業者への発注が条件となっています。

路線バス運行補助金には2231万円を計上。越後下関駅の業務委託料には582万円を計上しました。

## 地方消費税交付金

歳入における地方消費税交付金は、消費税率引き上げによつて前年比1800万円の増額を見込んでいます。引き上げ分については、「社会保障施策に要する経費」に充てるとされていて、当村では各種健診（検診）や予防接種費用に充当します。

# 平成26年度の主な事業内容をお知らせします

## 議会費

議会活動費 371万円

## 総務費

行政連絡事務委託料 1,270万円  
 土地建物購入改修費【新規】 3,000万円  
 ハザードマップ作成委託料 400万円  
 防災備品庫購入費【新規】 140万円  
 新エネルギー事業造成工事 500万円  
 キラリと光る地域活性化補助金 700万円  
 大したもん蛇まつり補助金 350万円  
 村づくり総合推進事業補助金 360万円  
 通学用定期券購入補助金【新規】 540万円  
 廃止路線代替バス運行費補助金 2,231万円

## 民生費

村社会福祉協議会補助金 2,399万円  
 国保会計繰出金 7,840万円  
 後期高齢者医療広域連合負担金 9,447万円  
 介護保険会計繰出金 1億6,156万円  
 後期高齢者医療会計繰出金 2,724万円  
 デイホーム送迎車購入費【新規】 341万円  
 地域生活支援事業委託料 1,613万円  
 下越障害福祉事務組合負担金 832万円  
 心身障害者福祉タクシー助成補助金 113万円  
 介護給付費訓練等給付費（心障） 1億300万円  
 ひとり親家庭医療費助成事業費 387万円  
 児童手当給付費 8,030万円  
 保育園臨時雇用賃金【拡充】 1,917万円

## 衛生費

時間外急患診療業務委託料 30万円  
 病院群輪番制病院運営費負担金 163万円  
 健康づくり対策費 198万円  
 成人病予防健診・特定健診委託料 1,219万円  
 個別予防接種委託料 1,830万円  
 妊婦健診等委託料 418万円  
 不妊治療補助金 100万円  
 医療費助成事業費【拡充】 1,650万円  
 村内ごみ収集委託料 3,987万円  
 ごみ処理運営費委託料 1,181万円  
 新ごみ焼却施設建設負担金 4,137万円  
 胎内市清掃センター委託料（し尿処理） 2,423万円  
 水道事業会計補助金 1,785万円  
 簡易水道会計繰出金 2,009万円

## 農林水産業費

有害鳥獣駆除対策事業費 220万円  
 水田利活用推進補助金 1,300万円  
 地産地消推進対策費 132万円  
 中山間地域等直接支払交付金 1,752万円  
 畜産振興費 775万円

国土調査事業費 4,072万円  
 多目的機能支払交付金（農地維持支払分） 896万円  
 多目的機能支払交付金（資源向上支払分） 297万円  
 県営土地改良事業負担金 1,445万円  
 農業集落排水事業会計繰出金 7,319万円  
 林道舗装事業費【新規】 2,170万円  
 森林環境保全直接支援事業補助金 976万円  
 荒川漁業協同組合補助金 200万円

## 商工労働費

関川村商工会補助金 648万円  
 関川村観光協会補助金 1,460万円  
 プレミアム商品券発行事業補助金 1,100万円  
 村有観光施設管理委託料 5,712万円  
 ゆ〜む管理委託料 6,052万円  
 大石ダム湖畔公園遊具設置工事 1,943万円  
 スキー場索道設備改修工事 4,500万円  
 わかぶな高原スキー場補助金 500万円

## 土木費

道路除雪対策費 1億937万円  
 除雪ドーザ購入費【新規】 2,500万円  
 道路橋りょう維持費（工事費） 3,960万円  
 道路橋りょう整備費（道路改良工事） 8,550万円  
 道路橋りょう整備費（消雪施設工事） 2,940万円  
 道路橋りょう整備費（交通安全施設） 475万円  
 木造住宅耐震診断補助金 165万円  
 住宅改修事業補助金 500万円  
 公共下水道事業会計繰出金 2億3,393万円

## 消防費

消防団運営費 2,482万円  
 常備消防運営委託料 1億4,659万円  
 消火栓更新工事繰出金 890万円  
 耐震性貯水槽整備費（3基）【新規】 2,810万円  
 消防ポンプ積載車購入（2台） 840万円

## 教育費

スクールバス運行事業費 1,798万円  
 小中学生通学バス定期券購入費 1,165万円  
 教員助手等臨時雇用賃金【拡充】 2,720万円  
 情報通信技術システム機器保守料【新規】 272万円  
 情報通信技術システムリース料【新規】 658万円  
 中学校特別教室棟クラック補修工事 235万円  
 放課後子ども教室事業費 250万円  
 村民会館屋根防水工事 1,760万円  
 せきかわ歴史とみちの館管理費 869万円  
 重要文化財補修等管理事業補助金 1,247万円  
 ふれあいど〜む管理委託料 687万円  
 給食費 3,513万円

## 公債費

地方債元利償還金 5億5,042万円

# 個人住民税均等割4,000円から5,000円に引き上げ (村民税+県民税) 平成26年度課税分から

## ①平成26年度から10年間に限り引き上げになります

東日本大震災に伴い、全国の地方自治体で行われる緊急防災・減災事業の財源を確保するために制定された地方税の臨時特例法で、個人村民税の均等割の標準税率を平成26年度から10年間に限り、500円引き上げることとされました。

村においても、村民が安心・安全に暮らすことができるむらづくりを進めるため、この特例法の趣旨を踏まえ、平成26年度から平成35年度までの10年間、臨時的に個人村民税の均等割の税率を500円引き上げることになりました。

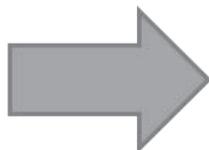
なお、個人県民税についても同期間500円引き上げられ、村民税の均等割の合計は改正前4,000円が改正後は5,000円になります。

## ②公共施設等の耐震化事業や防災備品等の整備に活用!

税率改正に伴う税収の増額分は、1,300万円ほどを見込んでいます。この増収分は、公用・公共施設の耐震化事業（緊急防災・減災事業債の償還財源を含む）、防災備品等の整備、老朽化した社会資本の整備等に活用する予定です。

# 消費税率(国・地方)の引き上げについて

## ①消費税率5%から8%へ引き上げられます



※ 地方消費税とは、国税である消費税と同様に、事業として行った商品の販売、サービスの提供等の国内取引や外国貨物の引き取りに対して課税される都道府県税です。

※ 消費税率10%（消費税7.8%・地方消費税2.2%）への引き上げについては、改めて経済状況等を総合的に勘案した検討を行います。

## ②引き上げ分の消費税収(国・地方)はすべて社会保障財源化されます

引き上げ分の消費税は、社会福祉や医療介護サービスの充実、また、後代への負担のつけ回しの軽減など、社会保障の充実と安定化のための財源となります。

## ③円滑かつ適正な転嫁にご理解とご協力をお願いします

《相談窓口》消費税価格転嫁等総合相談センター 《専用ダイヤル》0570-200-123

【受付時間】平日9:00~17:00（平成26年4月は土曜日も受付）

HP上の専用フォーム：<http://www.tenkasoudan.go.jp>（24時間受付）

【住民税に関する問い合わせ先】 税務会計課 ☎64-1451

【消費税に関する問い合わせ先】 村上税務署 ☎53-3141

# 「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.1 平成26・27年度の保険料率について

## 平成26年度および平成27年度の保険料率を据え置きます

保険料率は、新潟県内後期高齢者の2年間の医療給付費（総医療費から窓口負担額）を除いた額を推計し、若い世代が減少することをふまえ、若い世代と高齢者世代の負担の均衡を図るため、2年ごとに見直しを行います。

新潟県後期高齢者医療広域連合では、加入者の皆さんの負担をできる限り抑えるため、新潟県後期高齢者医療広域連合に積み立てられた医療財政調整基金全額と新潟県に積み立てられた財政安定化基金を活用することにより、平成26年度および平成27年度の保険料率をこれまでどおりに据え置きます。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{保険料} \\ \text{(年額)} \\ \text{限度額57万円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{均等割額} \\ \text{1人当たり} \\ \text{35,300円} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{所得割額} \\ \text{(前年中の総所得金額等 - 基礎控除額33万円)} \\ \times \text{所得割率7.15\%} \\ \hline \end{array}$$

※1人当たりの賦課限度額は、中低所得者の保険料負担の軽減を目的として、平成26年度以降55万円から57万円に引き上げとなります。

平成26年度の保険料額および納付方法については、7月中旬に加入者の皆さんにお知らせします。

## 保険料の軽減制度について（申請手続きは不要です）

### ◎所得状況に応じた軽減制度

均等割額の軽減対象（軽減割合5割および2割の対象世帯）を拡大します

- ・5割軽減…24万5千円を乗ずる加入者の範囲に世帯主の加入者を含めます。
- ・2割軽減…加入者数に乗ずる金額を35万円から45万円に引き上げます。

**均等割額の軽減**  
世帯の加入者全員と世帯主(加入者でない方も含む)

所得金額合計が下記の基準を超えない世帯	軽減割合
33万円以下かつ加入者全員が年金収入80万円以下（他に所得なし）	9割
33万円以下	8.5割
33万円 + (加入者数 × 24万5千円) 以下	5割
33万円 + (加入者数 × 45万円) 以下	2割

**所得割額の軽減**  
加入者個人の所得状況に応じて「所得割額」が軽減

加入者本人の所得状況	軽減割合
賦課のもととなる所得金額が58万円以下 (総所得金額等 - 基礎控除額33万円) ※年金収入のみの場合は年額211万円以下	5割

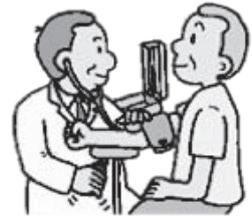
### ◎制度加入前日まで会社の健康保険など被用者保険被扶養者であった方への軽減

制度加入前日において保険料負担のなかった被用者保険の被扶養者であった方は、均等割額が9割軽減され、所得割額はかかりません。年間の保険料額は、3,500円となります。

後期高齢者医療制度に関する問い合わせ先 住民福祉課福祉保険班 ☎64-1471

後期高齢者医療制度にご加入の皆さんへ

# 人間ドック健診費用助成のお知らせ



村では、後期高齢者医療制度の被保険者の方が人間ドックを受診した際の費用の一部を助成します。

- ◇対象 関川村に住所を有する後期高齢者医療制度の被保険者で保険料を滞納していない方（※75歳以上の方、65歳以上で障がい認定を受けている方）
- ◇助成額 1人につき当該年度1回1万円を上限
- ◇助成期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日までの受診
- ◇申込方法 申込書に必要事項を記入してご提出ください。
- ◇申込締切 平成27年2月13日（金）

◇健診機関

下越総合健康開発センター(新発田市)
健康医学予防協会(新潟市)
新潟県健康管理協会(新潟市)
新潟県労働衛生医学協会(新潟市)
みどり病院(新潟市)
村上総合病院(村上市)

◇問い合わせ・申し込み先  
住民福祉課福祉保険班

☎ 64 - 1471

## 4月1日から すべてのお子さんの医療費助成を拡充します 通院・入院ともに18歳到達年度末まで

子ども医療費助成の対象期間は、平成25年9月1日以降「第3子以上いる世帯のお子さん」に限り、通院、入院とも18歳到達の3月末日まででしたが、平成26年4月1日から「すべてのお子さん」について、18歳到達の3月末日までに受給期間を拡充します。

■対象となるお子さん

対象となるお子さんについては、3月下旬に新しい受給者証を送付しました。なお、現在お持ちの受給者証は4月1日以降使用できませんので、個人情報に留意し破棄して下さるようお願いいたします。（※第3子以上いる世帯のお子さんについては、8月下旬に送付した受給者証をそのままご使用ください）

■記載事項をご確認ください！

お送りした受給者証の保険者番号等の記載事項に間違いがあった場合は、受給者証とお子さんの健康保険証をお持ちになり、役場住民福祉課までお越しください。

対象者	改正前	H26.4.1～
第1子・2子までの世帯の子ども全員	15歳到達の3月末日	18歳到達の3月末日
第3子以上いる世帯の子ども全員	18歳到達の3月末日	



《問い合わせ先》

住民福祉課福祉保険班 ☎ 64 - 1471

# 3月定例村議会

会期 3月6日～18日

(主なものを掲載します)

## 条例の制定及び一部改正

- 村職員の再任用に関する条例の制定について
- 村職員の定年等に関する条例の一部改正について
- 村一般職員の給与に関する条例の一部改正について
- 村技能労務職員の給与の種

類及び基準に関する条例の一部改正について

■ 村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

\* 右の5件は、地方公務員法及び地方公務員法等の一部を改正する法律の規定に基づき、職員の再任用に関し必要

な事項を定め、関係条例を整備するものです。

## 人事

■ 村監査委員の選任の同意について

\* 平成26年3月31日で任期満了となる監査委員の高橋眞雄さん(金保)の後任に、大戸三男さん(下関)を選任することに同意しました。

## 当初予算

■ 平成26年度の当初予算について

\* 8～12ページの新年度予算の概要をご覧ください。



## 平成25年度補正予算

一般会計では、財源として取り崩す予定の財政調整基金を1億円取りやめたほか、いずれの会計も決算を見通した補正予算となっています。

### ■ 一般会計 (第10号)

補正額 1億380万円を追加  
総額 44億1,250万円

### ■ 国民健康保険事業特別会計 (第2号)

補正額 100万円を追加  
総額 8億4,100万円

### ■ 介護保険事業特別会計 (第2号)

補正額 330万円を減額  
総額 5,630万円

### ■ 村有温泉特別会計 (第2号)

補正額 30万円を減額  
総額 610万円

## 4月6日から15日は『春の全国交通安全運動』

～春風に のせよう マナーと 思いやり～

新入学(園)シーズンを迎え、新たに通学・通園を始める子どもたちとともに、二輪車などの交通量も増加します。ドライバーも歩行者も一人ひとりが交通ルールを守り、交通安全を心掛けましょう。

### 運動の重点

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 自転車の安全利用の推進
- 飲酒運転の根絶
- 横断歩行者の保護



4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」

### ● 横断歩行者の保護 (新潟県の重点)

平成25年中、県内では道路横断中の歩行者が29人亡くなっていて、全死者数の27%を占めました。

- ・ 横断歩道等では『歩行者が優先』であることを再確認しましょう。
- ・ 夕暮れ、夜間に車を運転する場合は、原則として、上向きライトを活用しましょう。



# 春の異動

\*敬称略

## 【退職】

(3月31日付)

▽参事・地域包括支援センター班長

近 百合

▽主幹・下関保育園長

渡辺三代子

▽主幹・大島保育園長

高橋のぶ子

▽主幹・女川保育園長

平田 敦子

【異動】 (4月1日付)

## ■総務課

▽主幹・企画財政班

熊谷吉則(教育課) ※昇格

▽主査・企画財政班

大島祐治(総務班)

▽主任・総務班

木島恵理(農林振興班)

▽主任・総務班

菅原道典(福祉保険班)

▽主事・総務班

小島盛康(税務班)

▽主査・新エネルギー対策室

小田康裕(企画財政班)

## ■税務会計課

▽課長・会計管理者

井上広栄(議事事務局長)

▽主事補・税務班

須貝佳苗(新採用)

## ■住民福祉課

▽主査・健康介護班

相馬清子(総務班)

▽主事・福祉保険班

渡辺凌一(新採用)

▽保健師・健康介護班

川村華子(新採用)

▽主幹・地域包括支援センター班長

佐藤恵子(地域包括支援センター)

▽主任保健師・地域包括支援センター

島津 心(健康介護班)

## ■農林観光課

▽主査・農林振興班

佐藤正和(総務班) ※昇格

▽主任・農林振興班

加藤 悠(健康介護班)

## ■建設環境課

▽主査・地域整備班

須貝 出(企画財政班)

▽主事補・水道環境班

長谷川健太(新採用)

## ■教育課

▽副主幹・学校教育班

小林 誠(地域整備班)

▽現場管理員・生涯学習班

伊藤大助(水道環境班)

▽主任・生涯学習班

齊藤 準(新採用)

## ■議会事務局

▽事務局長 佐藤充代

(税務会計課長・会計管理者)

## ■保育園

▽主幹・下関保育園長

菅原百合子(下関保育園)

▽主幹・女川保育園長

里美(女川保育園) ※昇格

▽主幹・大島保育園長

伊藤厚子(大島保育園) ※昇格

▽保育士・下関保育園

柳川 茜(女川保育園)

▽保育士・女川保育園

渡辺寿子(下関保育園)

▽保育士・下関保育園

平田るみ(大島保育園)

▽保育士・大島保育園

佐藤優衣(下関保育園)

▽保育士・下関保育園

須貝静花(新採用)

▽保育士・下関保育園

齋藤瑞綺(新採用)

▽保育士・大島保育園

井上顕嘉(新採用)

## 【退職】

(内は新任校又は前任校)

## ■関川中学校

▽教諭 大滝 寛

## 【転出】

▽校長 野澤一吉

(県教育庁下越教育事務所)

▽教諭 渡辺星児

(村上市・山北中学校)

▽教諭 小田剛志

(村上市・平林中学校)

## 【転入】

▽校長 山崎 明

(胎内市・築地中)

▽教諭 川村健一

(村上市・山北中学校)

▽教諭 山本 亘

(燕市・吉田中学校)

▽教諭 長沢直行

(新発田市・猿橋中学校)

## ■関川小学校

### 【転出】

▽教頭 荒海高裕

(加茂市・石川小学校)

▽教諭 鈴木精一郎

(村上市・保内小学校)

▽教諭 宮地聡子

(村上市・保内小学校)

▽教諭 大島和恵

(村上市・猿沢小学校)

▽主査 安達久美子

(村上市・村上南小学校)

### 【転入】

▽教頭 川村尚史

(村上市・村上小学校)

▽教諭 小島広子

(村上市・神納小学校)

▽教諭 内田則子

(新発田市・加治川小学校)

▽教諭 東海林るみ子

(村上市・保内小学校)

▽教諭 大滝智子

(上越市・柿崎小学校)

▽教諭 鈴木舞子

(村上市・さんぼく南小学校)

▽事務主幹 奥村俊子

(村上市・村上小学校)

## その他官公署

(内は前任地又は新任地)

### ■関川村商工会

#### 【転出】

▽経営指導員 板垣信彦

(山北商工会)

#### 【転入】

▽経営指導員 町田一衛

(中条町商工会)

## ■村上市消防本部関川分署

### 【転出】

▽主任 近藤 満(警防課)

▽副主任 川内 悟(警防課)

▽消防副士長 田島直也

(朝日分署)

▽消防士 忠 将人

(神林分署)

▽消防士 岩田和也

(神林分署)

### 【転入】

▽副主任 阿部隆一

(荒川分署)

▽消防副士長 和田隆史

(荒川分署)

▽消防副士長 高橋俊篤

(神林分署)

▽消防士 大越竜也

(荒川分署)

▽消防士 鈴木卓哉

(荒川分署)

▽消防士 渡邊拓巳

(荒川分署)

### ■村上警察署下関交番

#### 【転出】

▽巡查 中村康伸

(新潟東警察署)

#### 【転入】

▽巡查 石川一真

(千葉県警察)

### ■村上警察署上野新駐在所

#### 【転出】

▽巡査部長 横井伸一

(新潟東警察署)

#### 【転入】

▽巡査 渡邊隆弘

(佐渡西警察署)



## 夢を語った49人の卒業生 力強く踏み出した新たな一歩

春の陽気に包まれた3月24日、関川小学校で4回目となる卒業証書授与式が行われました。今年の卒業生は49人。初めて袖を通した真新しい制服に身を包み、式に臨みました。

式では鈴木政信校長が「最高学年として下級生にやさしく教えている姿は立派でした。中学生になるみんなには、人・物・時を大切にしてもらいたい。これまでみんなを温かく見守ってくれた家族、地域の方々、先生方、友人はもちろん、自分たちが使う物も大切にしてほしい。これから始まる中学の3年間はあっという間に過ぎる。目標を高く持って、一日一日を大切に過ごしてください」と卒業生にメッセージを贈りました。

卒業証書授与の後、ステージ上で将来の夢を語った子どもたち。その夢の実現に向けて、力強く新たな一歩を踏み出しました。

## 大切な仲間と過ごした3年間 たくさんの思い出を胸に卒業

春の訪れを間近に控えた3月7日、関川中学校で「第9回卒業証書授与式」が行われ、51人の卒業生が新たな一歩を踏み出しました。

卒業証書授与では、野澤一吉校長から一人ひとりにメッセージが贈られ、晴れやかな表情で証書を受け取った卒業生たち。その姿を式に同席した保護者のみなさんは温かく見守っていました。

卒業生を代表して新野樹さん(南赤谷)が「今振り返ると、周りの人たちに支えられていろいろと乗り越えてくることができました。この3年間、かけがえのない思い出をつくることできたのは51人の仲間がいたから。本当に感謝しています。そして誇りに思います。これからは、それぞれの道へ進みますが、自分自身の道を切り開いていきましょう」と答辞を述べ、51人の卒業生は思い出の校舎をあとにしました。



村の自殺の現状を知ってもらい、悩みを抱えている人に対する話の聴き方を学ぶ自殺予防の研修会が、2月26日、村民会館を会場に開催され、一般村民や民生委員、健康推進員など約20人が参加しました。これは、村と村上保健所、県精神保健福祉センターの共催で、今年で6年目。

研修会では、村の保健師から村における自殺の現状を説明。その中で「過去30年間、自殺者がゼロだった年は一度もなかった。男性が7割、女性が3割を占めている。数年に一度、自殺者の多い年があるが、自殺予防には村民の力が必要」といった報告がされ、また、講師を務めた新潟のちの電話の渋谷志保子さんは自身の活動を基に「聴く側の姿勢によって話す方の気持ちも変わってくる。相手には、いつでもちゃんと見ているよ」というメッセージを送ることが大切」と語りました。

その後行われたグループワークでは、参加者から「相手の気持ちを感じ取れるような聴き方をしたい」「悩んでいる人の仕草や気持ちに少しでも気づいてあげられたら」といった感想が聞かれました。

## 相手に寄り添って聴く力が 大きな支え

～自殺予防メンタルヘルス  
サポーター養成研修会～



米沢街道をもっとたくさん  
の観光客に知ってもらいたい  
と、3月3日、農村文化交流  
センター「のくむ」を会場に  
関川村まちづくり講座が開催  
されました。主催は米沢街道  
地域づくり検討会（米野紀男  
会長・上関）で、講座には検  
討会のメンバーや行政関係者  
など約20人が参加。

その中で「関わる人たちの  
人間性を高め、共感を生む仕  
組みづくりが継続につながる。  
自立した村だからこそ、行政  
J A、N P Oとの連携が大切」  
と参加者にアドバイスを送り  
ました。

また、米沢街道地域づくり  
検討会の米野会長は「米沢街  
道を活用した村の活性化のた  
めに、村観光情報センターを  
拠点としてP R活動を行いた  
い。村のガイドブックを作成  
し、ゆくゆくは、メンバーで  
休日の観光ボランティアがで  
きれば」と話していました。

## ゆくゆくは観光ボランティアも 村の資源を活用した 米沢街道の活性化を考える

～関川村まちづくり講座～



## 医師と地域住民の健康交流会

～坂町病院健康ナイトスクール～

3月26日、県立坂町病院の医師が講師を務めた  
講演会「坂町病院健康ナイトスクールなんじだね」  
が村民会館大ホールで開催され、村内外から約100  
人が参加しました。これは、医療情報などを発信す  
ることにより、地域住民の健康増進や介護予防の促  
進を目的として開催されたもの。

当日は、同病院の鈴木薫院長や近幸吉内科部長、  
富田広外科部長が講演を行いました。在宅医療への  
取り組みをテーマに講演した近医師は「坂町病院で  
は月に約30件の訪問診療を行っている。本人がど  
ういう医療を受けたいのか、患者の意思を尊重する  
ことが大切。親しい人や家族に看取られながら、最  
期を迎えるのが一番いいことだと思う」と報告しま  
した。

講演を聞いた高橋健司さん（上土沢）は「本人の  
意思を尊重し医療を提供するという話が印象的でし  
た。今後はもっと設備の充実した病院になってくれ  
たら」と話していました。



## 森林の大切さを学んでほしい 県が小学校に副読本を贈呈

2月28日、村上地域振興局で、いわふねの森  
啓発促進事業「森林・林業副読本」の贈呈式が  
行われ、村から野沢専治教育長が出席しました。

副読本は、子どもたちに森林・林業の大切さ  
を理解してもらおうと村上地域振興局と岩船・  
村上緑化推進連絡会議が作成したもの。森林の  
さまざまな働きや川との関係など、14ページに  
わたり分かりやすく掲載されています。

村上地域振興局の佐々木綾子局長は「村上地  
域は県内一の木材生産地であるが、子どもたち  
にあまり知られていない。本には、この地域の  
巨木や名木のほか、先人たちの苦労が掲載され  
ている。この本を用いて多くの子どもたちに学  
んでもらえれば」と期待していました。

今回贈呈された副読本は、小学校中学年向け  
の教材となっていて、今後4年生の授業で活用  
される予定です。

みなさんからのアイデア募集します！

## 平成26年度『キラリと光る地域活性化事業』

村では、地域課題の解決や地域活性化に取り組む皆さんを応援する「むらづくり総合推進事業」を今年度も実施します。

皆さんの想いやアイデアを活かして、次世代に誇れる豊かな村をつくりませんか？

- ◆募集期間 4月1日(火)～5月12日(月)
  - ◆対象者 コミュニティ・集落・企業・任意団体・有志など(当村に活動拠点があること)
  - ◆対象事業 地域の活性化に寄与する事業
  - ◆補助金 総額700万円(補助率100%以内)
  - ◆公開プレゼン 7月ごろ
- ※詳しい日時などは、今後の広報せきかわでお知らせします



### 【問い合わせ・申請先】

総務課企画財政班 ☎64-1476

最高  
10万円

## 住宅リフォーム補助金交付 事業をご利用ください!

村では、平成26年度も村内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、村内の施工業者によって個人住宅のリフォーム工事(改修・補修・修繕等)を行う村民を対象に補助金を交付します。

### 補助対象となる工事費

リフォーム工事に要する補助対象額が20万円以上の工事です。

### 補助金の額

補助対象額の10%に相当する金額で、上限額は10万円です。

### 補助対象者について

- 申請者が所有する個人住宅をリフォームする方で、次のすべての条件を満たす方
- ・村内に住所を有し、住所登録または外国人登録をしていること
  - ・村税など、村に対する債務を滞納していないこと
  - ・村内施工業者が行うリフォーム工事であること
  - ・この補助金を受けたことがない方
  - ・交付決定後に工事に着手し、平成27年3月末までに実績報告書を提出することができること



※次の工事は補助対象になりません

- 新築・増築工事
- 住宅と一体であっても、店舗・倉庫・車庫などの非居住部分
- 耐震改修工事など、他の補助対象制度と重複する工事

《住宅リフォーム補助金交付事業に関する問い合わせ先》

- ◆事前相談受付に関すること 建設環境課 地域整備班 ☎64-1479
- ◆書類申請受付に関すること 総務課 企画財政班 ☎64-1476

# 学校からのお知らせ

## 今日は関川小学校からの紹介

### インドネシアとつながり 交流を深めました

関川小学校では、平成25年度末までの3年間「教育スクウェア×ICT事業」に取り組み、ICT機器を活用した授業実践を進めてきました。

先日、5年生は、その集大成として「インドネシアとつながる授業」でいきいきとした姿を見せてくれました。日本の「よさこい」、インドネシアの「バリ舞踊」を披露し合ったり、英語スピーチの自己紹介をしたりして交流を深めました。ICTの活用でこれからはますます国際理解と国際交流が広がっていく予感がしています。



### 夢と感謝・祝福の気持ちを伝え合った 平成25年度 第4回卒業証書授与式

たくさんの御来賓と保護者の皆さんからの祝福も受け、3月24日、第4回卒業証書授与式を行いました。卒業証書を受け取る6年生の表情から、卒業の喜びや進学への希望が感じられました。式後半の「門出の歌」では、全校で卒業を祝い、喜び気持ちを伝え合いました。

また、卒業生からは、「将来の夢」や在校生へのメッセージも伝えられました。そして「ピリブ」の全校合唱で式のフィナーレを飾り、卒業を祝福しました。



## サーベイメーターによる放射線測定結果 (一般的な安全基準は0.16マイクロシーベルト以下) 【単位:マイクロシーベルト/毎時】

《測定月日 3月6日》

測定場所	測定値		測定時間	天候	
	地上10cm	地上1.0m			
下関	下関保育園	0.077	0.067	11:45	雪
	関川小学校	0.087	0.073	12:00	〃
	関川中学校	0.097	0.080	16:15	〃
	関川村役場	0.097	0.077	16:30	〃
	運動公園	0.093	0.073	15:40	〃
上関	ゆ〜む	0.083	0.070	16:00	〃
四ヶ字	辰田新集落センター	0.087	0.080	11:30	〃
霧出	大島保育園	0.090	0.080	9:45	くもり
	安角ふれあい自然の家	0.086	0.073	13:45	〃
七ヶ谷	大石ダム	0.100	0.083	13:30	〃
	金丸ふれあい自然の家	0.083	0.070	14:40	雪
九ヶ谷	鷹の美温泉駐車場	0.093	0.080	14:00	〃
	川北ふれあい自然の家	0.093	0.077	11:15	くもり
川北	高田ふるさと会館	0.077	0.067	10:00	〃
	湯沢	高瀬ふるさと会館	0.097	0.077	15:20
女川	女川保育園	0.077	0.070	10:30	〃
	中東集落センター	0.097	0.080	10:50	〃
測定結果	最大値	0.100	0.083		
	最小値	0.077	0.067		
	平均値	0.089	0.075		

## 『広報せきかわ』 送riませんか？

村を離れて遠くに暮らす家族や友人、親戚へ「広報せきかわ」を送りませんか。  
年間購読料をお支払いいただければ、毎月郵送で広報をお届けします。

《お届け期間》平成26年5月号～  
平成27年4月号まで12回

《年間購読料》2,000円

随時受け付けしています。申し込みを希望される方は、下記までご連絡ください。

※送付先の郵便番号、住所、氏名、電話番号のほか、申込者（納付者）の住所、氏名、電話番号が必要です。

《申し込み先》総務課総務班  
☎64-1476



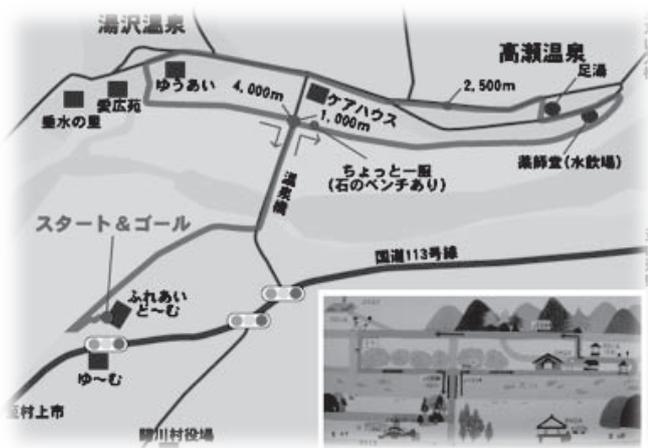
▶新潟県健康づくり  
キャラクター「トビー」



# 健康せきかわ21 いきいきライフ

## 新潟県認定「健康ウォーキングロード」 村のコースを紹介します！

歩いて健康！大したもん蛇コース全長5km（※ショートコースあり）



▲右下のマップは関川中学校生徒の手作りマップ  
（ど〜む正面側に掲示中）

▲四季が楽しめるコース

\*歴史ある街並みを歩く「えちごせきかわ渡辺邸周辺コース（全長1.1km）」もあります。

### 新潟県認定「健康ウォーキングロード」とは

県では、県民の運動習慣を推進するため「ウォーキングロード」登録事業を実施しています。村には2コースあり、コースにはトイレや休憩場所などの条件がそろっています。

### 「村民健康ウォーキング」をきっかけに歩きましょう！

村では、楽しく手軽に歩くきっかけづくりを目的とした「村民健康ウォーキング」を実施しています。認定ロードを活用し、桜やほたる、紅葉の季節に合わせて計画しています。また、地域の身近なウォーキングコースをみなさんと歩く企画も検討中です。ぜひ参加ください。

※随時、広報せきかわなどでお知らせします。

### 自宅から近くて歩きやすい道から歩いてみよう！

近くて身近なコースがあると、歩こうかな、続けてみようかなという気持ちが高まりやすいと言われています。時間を見つけて、まずは10分1000歩から歩きましょう。

### ★安全に歩くために！

- ◎体調に合わせて無理をせず、持病がある人は主治医に相談しよう！
- ◎歩く前や15分ごとの水分補給を習慣に！
- ◎歩く前には準備体操、歩いた後には整理体操を心がけよう！



スタンプ  
ラリー始まる  
にゃ！

〈全体像〉

「ここが通い合う福祉と健康が保たれる地域の実現」

〈個人像〉

「家庭や地域で生きがいを持ち自分らしく生きる」

この理念は第5期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画(平成24年から26年)で定めたものです。地域包括支援センターはこの理念の実現を目指して、村全体一人ひとりの高齢者の支援をしています。

個人像の「家庭や地域で生きがいを持ち自分らしく生きる」の実現に欠かせないのが『医療』『介護』『予防』『住まい』『生活支援』が一体的に受けられる体制です。

寝たきりになっても受けられる医療、質の高い村に合った介護サービス、要介護状態にならないための予防、体の状態に合った住まい、買い物や食事の確保、安否確認などの生活支援を住み慣れた自宅や地域で受

けられる体制が「地域包括ケアシステム」です。

平成26年度は第6期(平成27年から29年)の事業計画を策定する年度です。第6期計画は、この「地域包括ケアシステム」の強化に重点が置かれた計画になります。今までの計画を評価

しながら高齢者の増加、認知症の人の増加、介護保険制度の見直しなども視野に入れて、「家庭や地域で生きがいを持ち自分らしく生きる」ことの実現のために十分に吟味した計画づくりを行います。

地域包括支援センターでは、高齢者の総合相談や権利擁護、介護予防事業を行っています。今年度は、住民の声を計画づくりに反映していきたいと思えます。

健康講座

111

「新潟県民のみなさくん

しよっぱい味付けになっていますよ」

新潟県立坂町病院 栄養課長 横山 麻子

このフレーズを見かけた方はいますか? 「にいがた減塩ルネサンス運動」のポスターに載っています。

この運動は、胃がん・高血圧対策として、①食塩摂取量2gの減少②野菜2皿の増加③果物は1皿の増加を目標とし、新潟県が平成21年度から10年かけて取り組んでいる運動です。減塩が健康につながることを「ルネサンス」再発見としてほしいという願いを込めて名付けられました。

「食塩(ナトリウム)は血圧を上げる↓カリウムはナトリウムの排泄をうながす↓野菜や果物にカリウムが多い↓だからさちんと食べよう」これがルネサンス運動です。(病気がによりカリウム制限のある方は、主治医に相談しましょう)みなさんはどうですか?

新潟県において、昭和52年当時の1日の食塩摂取量は18gでした。平成23年は10.4gと減っていますが、全国平均10.1gより多くなっています。

近年、健康志向が流行の中で、マスコミの影響もあってか家庭の食事が薄味になっていきます。私が栄養士として働き始めた20年前は病院の食事は薄味という方がほとんどでした。ところが今は、ちょうど良いという方が半数いらっしゃいます。これも県が減塩運動を続けてきた結果と言えます。ですが、せっかく薄味になっても、いやいや薄味になったからか「漬物がないとご飯が食べられない」とか「味噌汁は毎食ないと食べた気がしない」とか塩分の濃い物をたくさん摂る傾向にあります。地

域柄塩鮭の摂取も多くなっています。これでは減塩とは言えません。

長期的なこの運動の目標が達成されると、県民の最高血圧の平均は2mmHg低下し、その結果として脳卒中や虚血性心疾患の死亡者数や罹患患者数かなり減ると試算されています。味噌汁や漬物は1日1回にする、毎食野菜料理を1皿以上食べる、果物は毎日1個食べるなど、できる事からはじめてみませんか。

「にいがた減塩ルネサンス運動」に皆さんもぜひ取り組んで、健康に過ごしましょう。



\*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。 ☎62-3111



## スポーツあり ゲームあり そしてスイーツあり!

エンジョイ! 生涯楽習広場  
& 福祉健康フェア

3月9日、村民会館アリーナを会場に「エンジョイ! 生涯楽習広場&福祉健康フェア」が開催され、大勢の来場者で賑わいました。

当日は、人気のズンバワールドやバドミントン、グラウンドゴルフをはじめ、手作りスイーツコーナー、ここからただの健康コーナーなど



## 生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは村民会館へ  
TEL 64-2134



▶会場には、村内福祉施設を利用しての皆さんが作った作品も数多く展示されました

内容盛りだくさん。また、村内福祉施設の皆さんも大勢参加し、地域住民と交流を図りました。  
バドミントンを楽しんだ鈴木澄子さん(上関)は「約30年ぶりにバドミントンをしました。高校生の頃、少しやっていたので体が覚えていました。最近は健康づくりのために毎日ウォーキングをしていますが、バドミントンも楽しかったです。いい汗をかきました」と笑顔があふれていました。



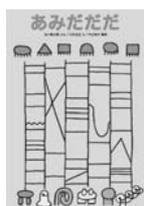
## 図書室の窓から

村民会館図書室

春風に誘われて外出の機会も多くなりました。関川村に桜が咲くのももうすぐ。今年は桜の下で本を開いてみるのはどうでしょう。梶井基次郎「桜の木の下には」坂口安吾「桜の森の満開の下」などの名作もお勧めです。

### この本よんで!!

「あみだだだ」  
谷川俊太郎文 中辻定正絵 E70



ユニークでユーモラスなあみだの絵に谷川俊太郎さんがこれまた愉快的な言葉をつけました。

### 今月の1冊

「うつに非ず」  
野田正彰著 493/



あなたのその症状は「うつ」ではない。不眠、食欲不振、憂うつ。ほとんどのうつ病は自然治癒する。



### 今月の図書館バス

にじ色と、「汽車」のメロディーが目印です。  
高田~沢~女川 方面 .....13(日)26(土)  
大島~片貝~大石 方面 ..... 20(日)

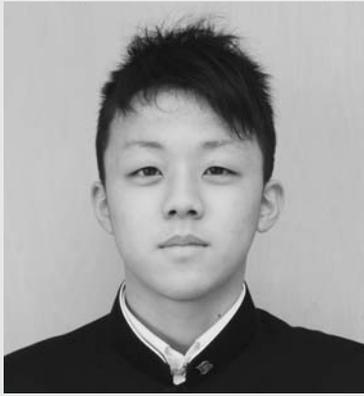
19日は おはなしのかい  
みんなで来てね!!

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。ろうそくを使った演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎! 無料です!

参加してくれた子どもたちにはかわいいシールをプレゼント!

毎週水曜日がお休みです。平日は、13時~17時30分まで、土・日は、9時~17時まで開館しています。4月から祝日は開館します。

# あなたに直撃 (131)



山口雄大さん  
(村上桜ヶ丘高校1年・蛇喰)

関川中学校を卒業して村上桜ヶ丘高校に進学する山口雄大さんに話を聞きました。

— 関川中学校での3年間を振り返ってみて、いかがでしたか？

この3年間はあっという間でした。どの行事を振り返っても涙が出てくるような、そんな楽しい毎日を過ごせました。一番良かったと思うのは、優しさをたくさん持った先生たちに出会えたことです。いろんな人たちと出会えたからこそ、3年間で大きく変わることができました。

— 関川中学校で共に過ごした仲間たちへメッセージを

いろんなことに一生懸命になれる人や仲間を大事にする優しいみんながいたから、すごく思いやりのあふれる、あったかい学校にすることができました。そんな居心地の良い関川中学校で3年間で過ごせてホントに良かったです。

今までありがとう！

— どのような高校生活を送りたいですか？

関川中学校で学んだことを活かして学校生活を楽しみたいです。あと、部活を一生懸命頑張りたい！

— 将来の夢を聞かせてください。

関川中学校の先生を超える先生になる！



## 商品券・スタンプ券で 公共料金の支払いを！

村商業協同組合（田中義一理事長・下関）が発行している「商品券」と「スタンプ券」を使って、村の公共料金や村税の支払いが可能です。

地元商店の活性化にもつながりますので、ぜひご活用ください。

### ● 納入方法について

役場会計窓口などで納入通知書と商品券あるいはサービス券台紙を村職員が一時預かり、現金と換える手続きをして納付します。

### ● 利用できる公共料金等について

村営・村有住宅使用料、上水道・簡易水道使用料、下水道・農業集落排水使用料、保育料、学童保育料のほか、村税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付についても利用できます。

【問い合わせ先】

総務課企画財政班 ☎ 64-1476

## 大会結果

\* 敬称略

### 第4回 村民ふれあい 綱引き大会

■ 期日 2月23日

■ 会場 関川小学校体育館

■ 成績

— 一般の部 —

▽ 優勝 川北和楽

▽ 準優勝 レッドブル

▽ 第3位 ゴールドベアーズ

九ヶ谷

### 第43回村長杯 バレーボール大会

■ 期日 3月16日

■ 会場 村民会館アリーナ

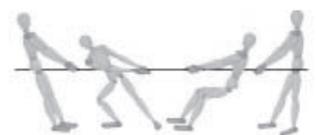
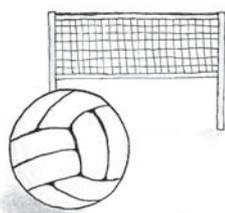
■ 成績

▽ 優勝 チームさすけね

▽ 準優勝 コーチーズ

▽ 第3位 大したもんジャー

▽ 第4位 チーム関川ゼミ



じっくり心をこめて

# スロー フード

121



## 貝だくさんみそ汁

だしの旨味としょうがの風味が効いた一品です。  
うす味でもおいしくいただけますよ。

## 《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

### 材 料 (4人分)

- ・だいこん 80g ・にんじん 40g
- ・さといも 80g ・ごぼう 40g
- ・しめじ 80g ・長ねぎ 40g ・しょうが 1かけ
- ・だし汁 700ml ・みそ 大さじ2弱

### 作り方

- ① だいこん、にんじん、さといも、ごぼうは小さめの乱切りにする。さといもは塩もみをして水で洗ってぬめりを取り、ごぼうは水につけてアクを取り、水気を切る。長ねぎは小口切りにする。しめじは食べやすい大きさにほぐしておく。しょうがはせん切りにする。
- ② 分量の水に顆粒だし（もしくはだしパックなど）でだし汁を作る。鍋にだいこん、にんじん、さといも、ごぼうを入れてやわらかくなるまで煮る。
- ③ ②の鍋にみそをだして溶いて入れ、①の長ねぎ、しめじ、しょうがを加え、2～3分煮たら出来上がり。

## せきかわ文芸

### 俳句・山柳

俳句

竹林が おじぎしている 雪の朝  
福寿草 咲くには早い 外は雪

大塚 沖正 (下川口)

各棟 影薄くなり 日脚伸ぶ  
寒の朝 通う子供の 息白し  
朝の日に ものの芽みんな 躍りでる  
春離の 声するどきや 棟の上  
水仙や 樹々のあいだに 白そえる

横山 一正 (東京都)

短歌

つり橋を渡りし山のふとこころに  
湯けむり上がるたかのすの宿

大塚 沖正 (下川口)

### 短歌

足腰の痛みに思う亡き母を  
膏蒸貼りて働く母を

須貝 恵美 (高田)

お爺さんの似顔絵書きて(チヨコ) 供え

須貝 恵美 (高田)

地主は産土の神に 祝詞あげ  
地主は緊張地鎮のまつり

佐藤 庄七 (愛広苑)

空になる皿にすかさず吾が盛るを  
盛りすぎなると男の子は言いぬ

渡辺千恵子 (上関)

### 関山俳句の会作品

吹雪夜や鴨鍋囲み過去語る

渡辺しづい



## 戸籍の窓

● 2月16日～3月15日までの届出●

### お誕生おめでとうございます

しゅうじ  
修志ちゃん(男) 高瀬  
日下 康彦・絵美さん

### すえながくお幸せに

{ 伊藤卓弘さん 下関  
(石塚) 泉さん (村上市)

### ごめい福をお祈りいたします

渡邊 ヨシさん 101歳 打上  
横山森之介さん 99歳 久保  
河内 ハルさん 93歳 上野山

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

## 人の動き

平成26年2月末現在 ( )は前月対比

世帯数 2,009世帯(-4)  
総人口 6,321人(-17)  
男 3,017人(-9)  
女 3,304人(-8)

( 転入 2人 転出 10人 )  
( 出生 1人 死亡 10人 )

### 編集室から

▶今年度も広報せきかわを担当させていただくことになりました。担当になってから5年目を迎えます。この間、さまざまな場所に取材に行かせていただきました。そしてたくさんの方たちを取材させていただきました。また一年間頑張りますので、情報提供や取材へのご協力よろしくお願いいたします！

▶4月はいろいろとバタバタする時期です。落ち着くまでに少し時間がかかるかもしれませんが、慌てることなく、落ち着いて物事に取り組んでいきたいと思えます。新年度を迎え、心機一転あらたな気持ちで頑張らしましょう！【あ】

## キラリ輝く☆せきかわっ子たち vol.29

今月は、スポ少柔道部でキャプテンを務めている須貝花菜子さん(6年・高田)を紹介いたします！



お兄ちゃんとお姉ちゃんの影響もあって、小学2年生から柔道を始めました。「後輩に迷惑を掛けないように頑張っている」と話す責任感の強いキャプテンです。

#### ⑥ チームメイトから見た花菜子さんは？

- ・まじめで、優しく、しっかり者
- ・ふざけていると注意してくれる
- ・リーダーシップがある

#### ⑥ 指導者の小池由美子さん(下関)から花菜子さんへ

少しずつキャプテンとしての自覚ができて、まとめる力がついてきました。これからは自分の目標をしっかり持って頑張ってください。



#### ⑥ 10年後の自分は？

おいしくて、人気のあるパン屋さんになりたい！

目標は、チームのみんなを引っ張っていけるキャプテンになること！

### わが家の

# 人気者

たくま 拓磨くん(11歳)

かずま 和磨くん(9歳)

しょうま 翔磨くん(5歳)

傳 崇宏さん 紀子さん(大島)



天真爛漫で思いやりのある拓磨。お兄ちゃんに負けまいと、努力を惜しまない和磨。いつでも周りを和ませてくれるわが家の人気者、翔磨。三人三様ですが、勉強にスポーツ、遊びに一生懸命です。これからもずっと三人の成長を家族みんなで見守っています。